

Ⅲ 地区別の再編整備の方向

1 前橋地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成24年3月から30年3月まで小幅な増減を繰り返しながら緩やかに減少し、平成30年3月を境に減少傾向が強まります。平成21年3月に比して平成29年3月は25人減、平成33年3月は347人減の見込みです。

県の中央部に位置し、隣接地区からの進学者が多いことから、隣接地区の状況も考慮しながら、市立高等学校を設置する前橋市教育委員会と連携して学級数を調整するとともに、生徒の進路希望等を踏まえて学科の改編等を実施します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の公立高等学校の1学年学級数は54～51学級、学校数は9校を予定しています。
- (2) 学級数の調整に当たっては、中学校卒業見込者数のほか、普通科、総合学科及び専門学科のバランス、中学生の進路希望等を考慮して検討します。
- (3) 職業系専門学科の在り方について、地域産業を担う人材を育成する観点から検討し、学科の改編や教育内容の充実を図ります。
- (4) 定時制課程について、生徒の通学状況や中学生の進路希望等を踏まえて、今後の在り方を検討します。

中学校卒業(見込)者数

卒業年月	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	3,232	3,326	3,207	2,885
増減(平成21年3月比)	—	94	-25	-347

(平成22年度学校基本調査を基に作成。以下同様)

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
前 橋	普通科	8	60学級 9校	60～59学級 9校	60～58学級 9校	54～51学級 9校
前 橋 南	普通科	6				
前 橋 西	普通科 国際科	4 1				
前 橋 女 子	普通科	8				
前 橋 東	総合学科*1	6				
勢 多 農 林	農業系学科*2	6				
前 橋 工 業	工業系学科*3	7				
前 橋 商 業	商業系学科*4	8				
前橋市立前橋	普通科	6				

*1 語学人文系列、情報科学系列、社会科学系列、芸術文化系列、自然科学系列、人間科学系列

*2 植物科学科、バイオテクノロジー科、動物科学科、緑地土木科、食品文化科、グリーンライフ科

*3 機械科、電子機械科、電気科、電子科、建築科、土木科

*4 ビジネス総合科、システム情報科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
前 橋 清 陵 (フレックススクール)	普通科昼間部	2	6学級 2校	6学級 2校	6学級 2校	6～5学級 2校
	普通科夜間部	2				
前 橋 工 業	機械科(夜間) 建築科(夜間)	1 1				

【通信制課程】

高等学校名	学科等	学科数及び学校数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
前 橋 清 陵	普通科 衛生看護科	2学科 1校	2学科 1校	2学科 1校	2学科 1校

2 伊勢崎・佐波地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成24年3月から29年3月まで小幅な増減を繰り返しながら緩やかに増加した後、平成29年3月を境に減少に転じます。平成21年3月に比して平成29年3月は216人増、平成33年3月は74人減の見込みです。

通学区域が広域化しており、近隣地区への進学者が多いことから、中学生の進路希望等を考慮しながら、市立高等学校及び中等教育学校を設置する伊勢崎市教育委員会と連携して学級数を調整するとともに、生徒の進路希望等を踏まえて学科の改編等を実施します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の県立高等学校の1学年学級数は33～30学級、学校数は6校を予定しています。
- (2) 学級数の調整に当たっては、中学校卒業見込者数のほか、中学生の進路希望や生徒の通学状況等を考慮して検討します。
- (3) 専門学科や総合学科における系列の在り方について、生徒の進路希望や社会のニーズ等を踏まえて検討し、学科の改編や教育内容の充実を図ります。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	2,475	2,553	2,691	2,401
増減(平成21年3月比)	—	78	216	-74

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
伊 勢 崎	文理総合科	6	36学級 7校	34～33学級 6校	34～32学級 6校	33～30学級 6校
	グローバルコミュニケーション科	2				
伊勢崎清明	普通科	6				
伊勢崎興陽	総合学科*1	4				
伊勢崎工業	工業系学科*2	5				
伊勢崎商業	商業系学科*3	6				
玉 村	普通科	2				
伊勢崎市立 伊 勢 崎	普通科	5*4	—	—	—	

*1 いのちと緑を育む系列、花と緑で環境を創る系列、食を科学する系列、福祉と人間を学ぶ系列、食と経済を考える系列、生活と文化を築く系列

*2 機械科、電子機械科、電気科、工業化学科

*3 商業科、会計科、情報処理科

*4 1学級30人。平成24年度から募集停止。

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
伊勢崎工業	工業技術科(夜間)	1学級	1学級	1学級	1学級

【中等教育学校】

中等教育学校名	学科等	1 学年学級数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
伊勢崎市立 四 葉 学 園	—	—	4学級*5	4学級	4学級

*5 1学級30人。平成24年度から後期課程に生徒が進級。

3 高崎・安中地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成26年3月以降、緩やかに減少します。平成21年3月に比して平成29年3月は167人減、平成33年3月は350人減の見込みです。

隣接地区の中学校から県立高等学校や中等教育学校への進学者が多いことから、隣接地区の状況も考慮しながら、市立高等学校を設置する高崎市教育委員会と連携して学級数を調整するとともに、生徒の進路状況等を踏まえて学科の改編等を実施します。

小規模校については、地域の実情や生徒の通学状況を踏まえながら、今後の在り方を検討します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の公立高等学校の1学年学級数は58～55学級、学校数は11～9校を予定しています。
- (2) 職業系専門学科について、地域産業を担う人材を育成する観点から学科の改編や教育内容の充実を図ります。また、総合学科の系列についても、社会のニーズや生徒の進路希望等を踏まえて検討します。
- (3) 松井田高等学校及び榛名高等学校については、生徒の通学状況や近隣の高等学校の学校規模等の状況に応じて再編整備を検討します。
- (4) 定時制課程について、生徒の通学状況や中学生の進路希望等を踏まえて、今後の在り方を検討します。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	4,233	4,365	4,066	3,883
増減(平成21年3月比)	—	132	-167	-350

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
高 崎	普通科	8	63学級 11校	63～62学級 11校	63～61学級 11校	58～55学級 11～9校
高 崎 東	普通科	5				
高 崎 北	普通科	6				
榛 名	普通科	2				
高 崎 女 子	普通科	8				
吉 井	総合学科*1	4				
高 崎 工 業	工業系学科*2	7				
高 崎 商 業	商業系学科*3	8				
松 井 田	普通科	2				
安中総合学園	総合学科*4	6				
高崎経済大学附属	普通科	7				

*1 人文社会系列、自然科学系列、人間科学系列、情報社会系列

*2 機械科、電気科、情報技術科、建築科、土木科、工業化学科

*3 流通ビジネス科、情報ビジネス科、国際ビジネス科

*4 文理教養系列、人間健康系列、芸術文化系列、情報ビジネス系列、生活文化系列、生物資源系列、食文化系列、情報電子系列、メカトロニクス系列

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
高 崎 工 業	機械・電気科(夜間) 建設科(夜間)	2	4学級 3校	4学級 3校	4学級 3校	4～3学級 3校
高 崎 商 業	商業科(夜間)	1				
安中総合学園	普通科(夜間)	1				

【通信制課程】

高等学校名	学科等	学校数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
高 崎	普通科	1校	1校	1校	1校

【中等教育学校】

中等教育学校名	学科等	1 学年学級数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
中 央	—	4学級*5	4学級	4学級	4学級

*5 1学級30人

4 藤岡・多野・富岡・甘楽地区

■基本的な考え方

平成23年3月以降、中学校卒業見込者数は、小幅な増減を繰り返しながら減少していきます。平成21年3月に比して平成29年3月は160人減、平成33年3月は266人減の見込みです。

再編整備に当たっては、藤岡・多野地区と富岡・甘楽地区に分けて、地区の高等学校の在り方について検討します。

小規模校については、地域の実情や生徒の通学状況を踏まえながら、県立高等学校の学級減等を実施するとともに、再編整備を計画的に行います。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の県立高等学校の1学年学級数は22～19学級、学校数は7～5校を予定しています。
- (2) 富岡・甘楽地区の高等学校の在り方について検討するため、有識者や学校関係者等からなる検討委員会等を設置し、平成28年度を目途に再編整備計画を取りまとめます。なお、これと並行して、下仁田高等学校については、学級減や1学級定員の引下げを検討・実行します。
- (3) 万場高等学校については、地元で高等学校教育を受ける機会を確保する観点から、学級減や1学級定員の引下げを検討・実行しつつ、生徒の通学状況等に応じて再編整備を行います。
- (4) 定時制課程について、生徒の通学状況や中学生の進路希望等を踏まえて、今後の在り方を検討します。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	1,468	1,382	1,308	1,202
増減(平成21年3月比)	—	-86	-160	-266

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
藤 岡 中 央	文理総合科 数理科学科	4 2	29学級 8校	28～27学級 8校	25～23学級 8～7校	22～19学級 7～5校
藤 岡 北	農業系学科*1	3				
藤 岡 工 業	工業系学科*2	3				
万 場	普通科	2				
富 岡	普通科	5				
富 岡 東	普通科	4				
富 岡 実 業	農業系学科*3	3				
	工業系学科*4	1				
下 仁 田	普通科	2				

*1 生物生産科、環境土木科、ヒューマン・サービス科

*2 機械科、電子機械科、電気科

*3 生物生産科、園芸科学科、食品科学科

*4 電子機械科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
藤 岡 中 央	普通科(夜間)	1	2学級	2学級	2学級	2学級
富 岡	普通科(夜間)	1	2校	2校	2校	2校

5 沼田・利根地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成24年3月以降、一定の割合で減少していきます。平成21年3月に比して平成29年3月は98人減、平成33年3月は245人減の見込みです。

地区内にある公立高等学校の教育の質の維持・向上を図るため、学校組合立高等学校を設置している市町村と連携しながら学級減等を実施するとともに、再編整備を計画的に行います。

小規模校については、地域の実情や生徒の通学状況を踏まえながら、今後の在り方を検討します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の公立高等学校の1学年学級数は15～12学級、学校数は4～3校を予定しています。
- (2) 地区の中核となる一定規模の普通科高校を配置します。
- (3) 普通科と職業系専門学科とのバランスに配慮しつつ、地域産業を担う人材を育成する観点から、農業、工業、商業の各分野における教育の機会を確保します。また、利根沼田学校組合立利根商業高等学校の県への移管（県立化）も検討します。
- (4) 尾瀬高等学校については、地元で高等学校教育を受ける機会を確保する観点から、学級減や1学級定員の引下げを検討・実行しつつ、生徒の通学状況等に応じて再編整備を行います。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	913	929	815	668
増減(平成21年3月比)	—	16	-98	-245

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
沼 田	普通科	5	21学級 5校	20～19学級 5校	18～16学級 5～4校	15～12学級 4～3校
沼 田 女 子	普通科	5				
尾 瀬	普通科	1				
	自然環境科	1				
利 根 実 業	農業系学科*1	2				
	工業系学科*2	2				
学 校 組 合 立 利 根 商 業	商業系学科*3	5				

*1 生物生産科、グリーンライフ科

*2 機械システム科、環境技術科

*3 地域経済科、国際経済科、情報経済科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
沼 田	普通科(夜間)	1学級	1学級	1学級	1学級

6 渋川・吾妻地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成23年3月以降、小幅な増減を繰り返しながら減少していきます。平成21年3月に比して平成29年3月は269人減、平成33年3月は555人減の見込みです。

再編整備に当たっては、渋川地区と吾妻地区に分けて、地区の高等学校の在り方について検討します。

小規模校については、地域の実情や生徒の通学状況を踏まえながら、県立高等学校の学級減等を実施するとともに、再編整備を計画的に行います。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の県立高等学校の1学年学級数は22～19学級、学校数は7～6校を予定しています。
- (2) 吾妻地区の高等学校の在り方について検討するため、有識者や学校関係者等からなる検討委員会等を設置し、平成26年度を目途に再編整備計画を取りまとめます。なお、これと並行して、長野原高等学校と嬭恋高等学校については、地元で高等学校教育を受ける機会を確保する観点から、学級減や1学級定員の引下げを検討・実行します。
- (3) 専門学科や総合学科の系列について、社会のニーズや生徒の進路希望等を踏まえて検討し、学科の改編や教育内容の充実を図ります。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	1,891	1,629	1,622	1,336
増減(平成21年3月比)	—	-262	-269	-555

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
渋 川	普通科	5	30学級 8校	29～28学級 8校	27～25学級 8～6校	22～19学級 7～6校
渋 川 女 子	普通科	5				
渋 川 青 翠	総合学科*1	5				
渋 川 工 業	工業系学科*2	4				
中 之 条	普通科	1				
	農業系学科*3	3				
吾 妻	普通科	2				
	福祉科	1				
長 野 原	普通科	2				
孺 恋	普通科	2				

*1 人文科学系列、情報管理系列、自然科学系列、デザイン系列、国際文化系列、ビジネス系列、生活文化系列

*2 機械科、自動車科、電気科、情報システム科

*3 生物生産科、環境工学科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
渋 川 工 業	工業技術科(夜間)	1学級	1学級	1学級	1学級

7 太田・館林・邑楽地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成24年3月から29年3月まで増加し、平成29年3月を境に減少に転じます。平成21年3月に比して平成29年3月は423人増、平成33年3月は85人増の見込みです。

中学校卒業生数の大幅な増加が見込まれる上、当該地区への進学者の割合が高いことから、隣接地区の状況も考慮しながら、市立高等学校を設置する太田市教育委員会と連携して学級数を調整するとともに、生徒の進路希望等を踏まえて学科の改編等を実施します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の公立高等学校の1学年学級数は64～61学級、学校数は12校を予定しています。
- (2) 学級数の調整に当たっては、中学校卒業見込者数のほか、中学生の進路希望や生徒の通学状況等を考慮して検討します。
- (3) 専門学科や総合学科の系列について、社会のニーズや生徒の進路希望等を踏まえて検討し、学科の改編や教育内容の充実を図ります。
- (4) 定時制課程について、生徒の通学状況や中学生の進路希望等を踏まえて、今後の在り方を検討します。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	3,727	3,833	4,150	3,812
増減(平成21年3月比)	—	106	423	85

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
太 田	普通科	7	63学級 12校	64～63学級 12校	68～66学級 12校	64～61学級 12校
太 田 東	普通科	6				
太 田 女 子	普通科	6				
新 田 暁	総合学科*1	4				
太 田 工 業	工業系学科*2	5				
館 林	普通科	6				
館 林 女 子	普通科	6				
板 倉	普通科	2				
館 林 商 工	工業系学科*3	2				
	商業系学科*4	3				
西 邑 楽	普通科	3				
	スポーツ科	1				
	芸術科	1				
大 泉	普通科	1				
	農業系学科*5	3				
太田市立商業	商業科	5				
	情報科	2				

*1 人文科学系列、食文化系列、自然科学系列、情報ビジネス系列、社会福祉系列、機械・電子技術系列

*2 機械科、電子機械科、電気科、情報技術科

*3 生産システム科、建築科

*4 総合ビジネス科、情報ビジネス科

*5 生物生産科、バイオテクノロジー科、食品科学科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
太田フレックス (フレックススクール)	普通科Ⅰ(午前部)	2	7学級 2校	7学級 2校	7学級 2校	7学級 2校
	普通科Ⅱ(午後部)	2				
	普通科Ⅲ(夜間部)	2				
館 林	普通科(夜間)	1				

【通信制課程】

高等学校名	学科等	学校数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
太田フレックス	普通科	1校	1校	1校	1校

8 桐生・みどり地区

■基本的な考え方

中学校卒業見込者数は、平成24年3月から29年3月まで、ほぼ横ばいで推移し、平成29年3月を境に減少傾向に転じます。平成21年3月に比して平成29年3月は14人増、平成33年3月は302人減の見込みです。

隣接地区からの進学者が多いことから、隣接地区の状況も考慮しながら、市立高等学校を設置する桐生市教育委員会と連携して学級数を調整するとともに、生徒の進路希望等を踏まえて学科の改編等を実施します。

また、中規模校が多く、中学校卒業見込者数の減少が見込まれることから、地区全体の高等学校の在り方について検討します。

■取組の方向

- (1) 全日制課程について、平成33年度の公立高等学校の1学年学級数は27～24学級、学校数は7～6校を予定しています。
- (2) 学級数の調整に当たっては、中学校卒業見込者数のほか、普通科及び専門学科のバランス、中学生の進路希望等を考慮して検討します。
- (3) 専門学科について、社会のニーズや生徒の進路希望等を踏まえて検討し、学科の改編や教育内容の充実を図ります。
- (4) 地区全体の高等学校の在り方について検討するため、有識者や学校関係者等からなる検討委員会等を設置し、平成28年度を目途に再編整備計画を取りまとめます。

中学校卒業(見込)者数

	平成21年3月	平成25年3月	平成29年3月	平成33年3月
中学校卒業(見込)者数	1,620	1,640	1,634	1,318
増減(平成21年3月比)	—	20	14	-302

【全日制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
桐 生	普通科 理数科	5 2	34学級 7校	34～33学級 7校	34～32学級 7校	27～24学級 7～6校
桐 生 南	普通科	4				
桐 生 西	普通科	4				
桐 生 女 子	普通科 英語科	4 1				
桐 生 工 業	工業系学科*1	5				
大 間 々	普通科	3				
桐生市立商業	商業科 情報処理科	4 2				

*1 機械科、電気科、建設科、染織デザイン科

【定時制課程】

高等学校名	学科等	1 学年学級数及び学校数				
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度	
桐 生 工 業	工業技術科(夜間)	1	2学級	2学級	2学級	2学級
桐生市立商業	商業科(夜間)	1	2校	2校	2校	2校

【通信制課程】

高等学校名	学科等	学校数			
		平成21年度	平成25年度	平成29年度	平成33年度
桐 生 女 子	普通科	1校	1校	1校	1校